

第 32 回 (2023.03.12) 向け (理論添削問題) 第 1 回 (2023.2.12 日)

提出期限 : 2 月 20 日
返却(メール) : 2 月 25 日

※提出期限を過ぎても、できる限り添削いたします。

各 150 字以内で答えなさい

3 科目すべてを記載していますが、添削は受講中の科目だけを対象にさせていただきます

前回出題の論点ははずしていますが、それ以外は同じ論点のものもあります

<採点の考え方>

加点要因→キーワード (文脈の中で正しさに欠ける場合は減点)

キーワードが合ってなくても同様の意味を示せば問題なし。

減点要因→主語と述語の非対応、論理構成の誤り (原因と結果の不整合等)

後日模範解答を添削結果とともにお送りします。模範解答は建設業会計概説に従い、添削者 (弥生カレッジの横山隆志) の表現に変更する予定です。建設業経理士試験では、キーワードや法令用語であっても正式な用語を強く求められるわけではないことを意識してください。極端に言うと、間違っていなければ主語と述語だけでも 2~3 点程度はもらえるということです。(例: 減価償却の本質→減価償却とは取得原価を配分する手続きである)。試験では絶対にあきらめないでください。

過去の添削を行った感想→主語述語の対応関係が明確でない解答が数件ありました。記入した後に必ず対応関係を確認してください。また解答を列挙する場合は、できれば①②③などで箇条書きにした方が見やすくなるので試してみてください。またテキストの内容をそのまま記入されている方も数人おられましたが、できるだけ自分で考えて自分の言葉で書く練習をしてください

<財務諸表>

- (1) ヘッジ会計の意義について述べなさい
- (2) ヘッジ取引にかかる損益認識時点について述べなさい

- (2) 税効果会計に関する次の概念について述べなさい

①資産負債法 ②一時差異

<原価計算>

- (1) 借入金の利子は原価性を有するか、一般的原価計算慣行と建設業固有の事情の両方の観点から解説しなさい

- (2) 補助部門の施工部門への配賦方法に関し3つの方法が用いられるが、その名称を記すとともに、それぞれの特徴を述べよ

<財務分析>

(1) ①損益分岐点を改善する方法 ②資本回収点分析、についてそれぞれ述べなさい

(2) キャッシュフロー分析についての分析手法とその詳細について述べよ